

## 特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2007 年度通常総会議事録

- 1 日時 2007 年 6 月 2 日(土) 15 時 00 分～17 時 00 分  
会場 こうち男女共同参画センター 3 階大会議室
- 2 正会員総数および出席者数  
正会員総数 46 名  
出席者数 15 名 (うち委任状による出席者 27 名)
- 3 議事次第と審議(報告)の結果
  - (1) 理事長挨拶
  - (2) 来賓挨拶
  - (3) 議長選出 吉井法宏氏を満場一致で選出。
  - (4) 議事録作成人及び署名人選任 議事録作成は事務局、署名人は新本勝庸氏、松本和子氏を満場一致で選任。
  - (5) 会員出席状況の確認 事務局長から、現在の正会員数 46 名、出席正会員数 15 名、有効委任状出席 27 名、出席者計 42 名を報告。定款により、定足数 24 名以上であることを確認。

(6) 議案 議長が承認方法を求め、基本的に拍手による承認とすることが認められた。

第 1 号議案 2006 年度事業報告並びに収支決算に関する件

[2006 年度事業報告について]

事務局長から 2006 年度の活動総括。事務局から 2006 年度の実業報告。

[2006 年度収支決算について]

事務局長から 2006 年度収支予算・決算対比表について説明。

◇収入の部

県からの委託費 3,151 万 7,000 円が 429 万 8,684 円の減額となり、決算額は 2,721 万 8,316 円となった。主体間連携モデル推進事業は当初予算計上していなかったため、実際の契約額 800 万円が計上されている。損保ジャパンシンポジウムは事務協力代として、10 万円を委託金として受け取った。補助金収入の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」は「地球温暖化防止フォーラム」の件である。寄付金収入は、「マイバッグキャンペーン」からの 2 万 4,169 円などである。雑収入は、全国地球温暖化防止活動推進センターから支給された、都道府県センター職員研修にかかる交通費や、事務局長が外部へ講師として招かれた際の講師謝金等である。合計 4,042 万 7,656 円が決算額として計上されている。

◇支出の部

①管理費について

管理費の科目は、実際の会計上の科目に合わせたため、設立総会時の予算計上の分類よりも細かい科目に分かれている。例えば、備品の予算 415 万 6,000 円には、消耗品や事務用品費、印刷費等の合計額として予算計上されていた。そのため予算額と決算額の差額は出していない。

②事業費について

[情報発信事業①] 情報紙の発行回数が 1 回だったため減額した。

[情報発信事業②] 環境活動見本市を 2 回開催したため増額した。

[エコまなぶ貸出事業] 昨年度は新たな機材の購入を見送ったため 80 万円程の減額。

[環境学習講師研修会開催事業] 高知県環境研究センターに同内容の事業があり重複するため、えこらぼでは実施せず、環境研究センターを応援することにした。

[環境指標調査作成事業] 当初かなり事業量を詰め込まれた状態で計上していたため、2006 年度は実施しないことで合意した。

[地球温暖化防止活動支援事業] 啓発事業は当初予算がついていなかったが、温暖化防止月間等パネル展で、35 万 5,602 円を使用した。

[環境学習方針調査事業] 調査規模を減らし半分程度にして実施した。

事務局長から貸借対照表、収支計算書、財産目録、個別注記表について説明。

◇収支計算書について

Ⅱ 経常支出の部、1 事業費の①アウトソーシング推進関連環境活動支援センター事業費と、2 管理費は県の委託費に相当する。②主体間連携モデル推進事業費は環境省、③地球温暖化防止活動推進員等研修事業は日本環境協会からの委託事業、④二酸化炭素排出抑制対策事業費は環境省の補助事業であった。

◇財産目録について

Ⅱ 負債の部、未払金の給与 415 万 8,000 円は、委託事業等にスタッフとして関わっている人たちの賃金である。委託元からの委託金の入金があり次第賃金を支払うということでしたので、事業終了時の 3 月末の時点では未払いとして上がっていた。

西川監事より監査報告 2006 年度決算につき監査した結果、証書類及び関係書類と符合し、適正であったことが認められた。

第 1 号議案の事業報告並びに収支決算について、審議の結果、拍手多数により承認された。

## 第 2 号議案 2007～2008 年度役員に関する件

[役員を選考方法について]

事務局長より役員を選考方法について、理事会で承認を得、理事 3 名と理事以外 2 名の 5 名からなる役員選考委員会を設置し、会員の中から立候補、推薦を受けて候補者を検討したと報告がされた。

役員選考委員会から役員候補を提示することについて採決を求め、拍手多数により承認された。

[役員を選出]

2007～2008 年度役員候補者名簿を提示（資料別紙 2）。事務局長が候補者選出の経緯を説明し、候補者の紹介をした。

◇役員候補者選出の経緯

役員選考委員には理事から兼松、松本、内田の三氏が加わった。第 1 期の役員には留任をお願いし、その上で欠員となった理事数を補うことを話し合い、理事 15 名、監事 2 名の候補を挙げた。

各役員候補には、総会で役員承認が得られれば 2 カ年役員として活動することの内諾を得ていることを確認し、拍手多数により 2007～2008 年度役員が承認された。

[理事長、副理事長の選出]

2007～2008 年度役員の内選により、理事長は石川妙子氏、副理事長は前期より留任で新本勝庸氏、吉井法宏氏に決定した。

## (7) 報告

### 第 1 号 2007 年度活動方針・計画について

[運営体制について]

事務局長が、理事会、運営委員会、部会の新しい運営体制について説明した。事務局体制について、「臨時職員 1 名の補充を行う」とあるが、まだ採用等は決まっていない。

[活動方針について]

えこらば部会の『みんなで伝え、みんなで学ぶ』のキャッチフレーズは、まだ案の段階で、会員の了承を得ていない。地球温暖化防止センター部会は今年、環境省からの多数の事業、金額で 2,000 万程度を受けている。それを会員や高知県地球温暖化防止活動推進員らともどもやっていくという体制をとることになる。

[事業内容について]

地球温暖化防止活動推進センター（2）の「一村一品・知恵の環づくり事業」は今年から 3 年間継続する新しい事業として上がっている。審査委員会等をつくりながら実施していくことを考えている。

2007年度はそれぞれの事業を複合しながら進めていくことを要件と考えているので、ぜひ協力をお願いしたい。進め方については、プロジェクト制のような形をイメージしている。事業によっては人件費が出せるものもあるが、基本的に無償という考え方で動いて頂きたい。

#### [2007年度収支予算について]

##### ◇収入の部

環境省からの委託や補助事業を含めると、2006年度に比べて約1,500万円増額している。県の委託費は若干減額した。県の予算全体が減っている中でではやむを得ないとする。

##### ◇支出の部

環境活動支援助成事業は、県の循環型社会推進課が行っていた散乱ごみ対策の補助事業がえこらぼへ移ったことにより、312万円増額した。ホームページ講師データベース事業は、ホームページはほぼ完成したため、管理費用等は環境情報発信事業のほうに移した。地球温暖化防止活動支援事業、省エネラベル推進事業、環境製品提案・評価事業、啓発事業等は、えこらぼの事業としては昨年度で終了している。

管理費等については2007年度の予算をベースに作成し、予備費として478万9,979円を計上した。委託費は事業終了時に支払われるものがあり、昨年度は借入をしたため、予備費は運営費の数カ月分と考えていただきたい。

拍手多数により、報告事項が了解された。

#### 第2号 入会金および会費について

資料23 ページ付則6には、設立当初の入会金及び会費と規定されている。2期目以降の入会金、会費については、これからの1年間で会員から意見をもらいながら決めたい。

出席会員から、今後は会員数を獲得していき、活動を広げていこうという意見がだされ、入会金、会費の決め方についても合わせて、拍手多数で了解された。

#### 第3号 その他

##### ◇事務局より

現在の会員数は正会員46名、活動会員9名(資料p.24~p.25)。次第に増えており、今後増やしていくよう努力したい。また、会員には「エコまなぶ」等の貸出品もどんどん活用することをお願いしたい。

えこらぼ部会の運営体制づくりのタイムスケジュールについては、運営委員会を6月からスタートさせたいということもあり、まずは核になる人をえこらぼ部会の中で決めたいと考えている。そのためには、まず理事がえこらぼ部会の体制を決めることを望んでいる。それと並行して、会員にはどちらかの部会に入ってくれるよう案内を出したい。まだ具体的な日には決めていないが、できるだけ早く部会を立ち上げ、実のある議論をしたい。

##### ◇新本理事より

いま全国で地球温暖化防止のための啓発新聞を3,000万部配ろうという運動があり、高知県では20万部配ろうと運動している。このような大きな動きを、環境サポートセンターとしてフォローするのも我々の大きな役目ではないか。ぜひ後援、あるいは協力をしていただきたい。ぜひ皆さんにご協力いただけたらと思う。

議長が、報告事項の第3項で出された全ての意見について了承を求め、拍手多数によって了承された。

##### ◇理事長の挨拶

7月1日からの新しい体制も決まった。運営体制などは紙面で見ると堅苦しいが、ご存知のとおり現場は楽しいので、楽しさの輪を広げるように環境の杜こうちの活動を広げていただきたい。

(8) 議長はすべての議決事項並びに報告事項が了承されたことを宣言し、その任を降りた。

議長 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印 ・ \_\_\_\_\_ 印